

News

ウェルネス



No.119

ウェルネス小畑歯科医院
子どもの歯を守る会
会報 1998年2月創刊

〒640-8401
和歌山市福島324-1
TEL 073-455-9874
FAX 073-455-9884

開業医の新しいカタチ ～ドライマウス外来への取り組みを発表～

和歌山県保険医協会 事務局長 上野 佳男

はじめに

院長の小畑文也先生が30年以上役員を務めていただいている関係に甘えて、前号に引き続き、今号は和歌山県保険医協会の活動のP.Rを兼ねて、小畑、竹岡両先生にご参加いただいた医療研究フォーラムの記事を寄稿させていただきます。

和歌山県保険医協会は、1977年10月に設立され、現在県下の医師・歯科医師800人が加入しています。今年創立40周年を迎えます。

保険医協会とは、「国民の健康と医療の向上をはかること」を目標に、その保障となる健康保険を取り扱う医師・歯科医師達＝「保険医」の生活と権利を守ることを目的に結成されました。全国各都道府県にあり、全国組織としての全国保険医団体連合会（保団連）に加盟しています。



《京都国際会議場》

その活動は、もちろん開業医に対する保険診療のサポート・情報提供が中心ですが、学術団体である医師会、歯科医師会や大学病院主体の学会とは異なり、地域医療を行う開業医らしく患者さんの声を重視しております。前号に掲載した子ども医療費助成など医療制度の改善を訴えたり、最近では高齢者の窓口負担増に

反対する要請も行っています。また、地域住民にも公開した講演会なども毎年開催してきており、今年も映画「いしゃ先生」上映会が開催予定です。詳細が決まりましたらご案内いたします。

超高齢社会において開業医は

今は2.6人、約40年後には1.2人。いったい何を表す数字でしょうか？なんと、一人の高齢者を支えるのに必要な人数です。40年後の2060年には、現在の半分以下の人数で支えていかななくてはなりません。今、政府をはじめ多くの医療関係団体・学会が、それぞれの立場からこの来るべき超高齢社会にどういった対応をすべきかを考えています。

昨年10月9日、10日に全国保険医団体連合会の第31回医療研究フォーラムが京都で開催されました。今回のフォーラムは、上記のような日本の人口構造の変化に対して開業医医療を見直すきっかけとして開催されました。テーマは「保険で良い医療を実現する、医療実践について考える」です。

和歌山県からは、歯科医師を代表して小畑歯科医院から院長先生と竹岡先生が参加し「健康管理型開業医



《竹岡Dr.の発表の様子》

における口腔乾燥症とその周辺疾患の取り組み」と題して発表しました。また医師の代表としては、湯浅町・小野田クリニックの小野田幸男先生と和歌山市・西本クリニックの西本真司先生がそれぞれ「先天性代謝異常症の診断事例」と「統合医療による潰瘍性大腸炎改善症例」について報告しました。症例研究は、大学病院だけが行っていると思われていますが、どっこい開業医でも頑張っている研究しています。

傍観者ではいけません

初日には超高齢社会への対応についてシンポジウムが行われました。厚生労働省や日本医師会など様々な団体の代表者が発言をする中、医療現場の実態にそぐわない部分があることが指摘されました。



《フォーラム全体の様子》

例えば和歌山県の「地域医療構想」では、2025年に向けて地域のニーズを探り、病院のベッド数を約3000床減らしていくというプランがあります。しかし、有田地域では高度医療ができる病床を作るという計画さえ立てられない状況にあります。政府側は厳しい財政事情のためか、どうしても財政管理型の仕組みに傾きがちです。こういった問題は、国民一人ひとりのいのちや暮らしに関わってきますので、私たちも傍観者にならず動向を注視する必要があります。

地域医療と歯科

このフォーラムでは、全国960人の歯科医師から回答を得た「地域医療における歯科医師の意識と実態調査結果」についても発表されました。

注目されたのは、「歯周病や欠損の放置などが原因で引き起こされる口腔機能の虚弱（オーラル・フレイル）」への対応です。

このオーラル・フレイルは、全身機能の低下や寝たきりなどの誘因になることが知られています。それゆえ多くの歯科医師がフレイル予防の必要性を感じていることが明らかになりました。しかしまだまだ介護保険事業

所との連携ができていないようです。地域の方々にもフレイル予防の重要性を周知すること、また行政や歯科、介護関係者との連携を強めることが重要です。

健康管理型ドライマウス外来という新しいスタイルを発表

フレイル予防はもちろんのこと、高齢化が進む中基礎疾患を持つ患者さんが増え、それに伴い服用薬の副作用などによる口腔乾燥などの訴えも増加傾向を示しています。歯科においても内科的な疾患の対応が必須となってきているのです。しかしながら、現状十分なアプローチがあるとはいえません。

フォーラム2日目に、小畑歯科医院が開業医では珍しいドライマウス外来を開設し、生活の質(QOL)の向上を目的とした健康管理型の治療を行っていることが竹岡先生により発表されました。

日常生活に不便を感じているものどこに行けばいいのかわからず、小畑歯科を受診した時点で複数の科を受診している患者さんが多いこと。そして私たち想像している以上に生活の質(QOL)が低下していることに驚きました。ドライマウスの患者さんは溢れかえっているにもかかわらず、医師・歯科医師ともにドライマウスを軽視している傾向にあるのです。ドライマウスは今や特別な病気ではありません。大学病院などの大きな病院だけでは、まかないきれなくなっているのです。これを受け、参加していた内科医師からも、こういった分野こそ医師・歯科医師で手を取りあって患者さんの健康を支えていきましょう、と賛同の声があがりました。

ドライマウスの治療は薬の管理が重要であり、受診する際にお薬手帳を必ず持参すること(薬は5種類までに留めないと副作用が出やすいといった報告もあるほどです)。休業できない場合は、唾液腺マッサージや含嗽剤、漢方薬を用いることで良好な結果が得られたと



《院長と竹岡Dr.》

いう症例などを報告しました。

またドライマウスの保険点数がないことや、適応できる漢方薬の拡大も強く訴えました(歯科保険で使える漢方薬はたったの7種類だけだからです)。

国民皆保険の下で

フォーラムの最後には、現在の国民皆保険制度の下で、開業医はどういった医療をすべきなのかが話し合わ

れました。日本の国民皆保険制度は国際的にも優れた評価を受けており、これからも正當に評価されるべきです。疾病治療だけでなく、国民全体の健康を維持するための制度となるよう充実を望む、など未来に向けた医療体制を求める意見が出ていました。

私たち保険医協会と小畑歯科のような開業医が手を取り合い、そのような制度になるよう国や厚労省に働きかけていきたいと思ひます。

MFT 学会に行ってきました！

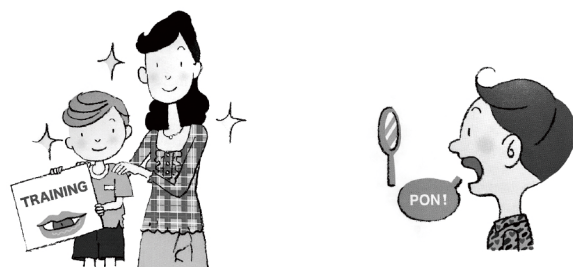
「こんにちは！」毎日夕方になると、小畑歯科の外來は子供たちの元気な声で溢れます。治療を受けにくるのはもちろんですが、小児矯正の定期健診が多いのも1つの理由です。

今、食べものの変化や時代背景など様々な理由で歯列不正の子供が増えていひます。

そこで、昨年より私たちが新たに取り組み始めているのが、MFT(口腔筋機能療法)です。MFTは舌や口元の悪習癖を正し『ステキな口元、笑顔になりましよう』というトレーニングです。矯正治療のように『歯並びそのものを治す』という絶対的な効果はありませんが、小児矯正と並行して、または小児矯正を行う前にトレーニングすることでその力が発揮されます。(詳しくは News ウェルネス No.112、113「うちの子はお口ポカン族？舌癖改善で健康な"えがお"作り」をご覧ください)

先日私を含めた歯科衛生士3人、先生1人の計4人で東京で開催されたMFTの研修会・学会に行ってきました。

学会に参加するのは初めてだったのですが、参加人数は想像していたよりもずっと多く、2日間で300人



【出展元】「お口ポカン追放大作戦
毎日お家でトレーニングするだけでお口ポカンが直る本」

を超えていたそうです。日々の治療で感じてはいましたが、MFTの需要が全国的にも高まっていることが分かりました。

研修会では基礎的なトレーニングの講習、学会では全国の大学や歯科医院が取り組んでいる症例についての発表がありました。

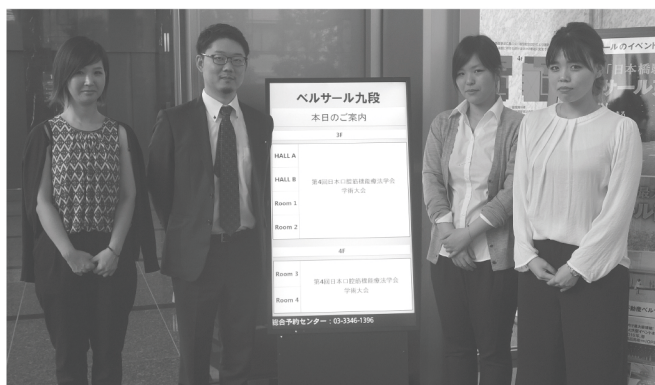
MFTを通して、態癖を改善すること(頬杖や睡眠時の姿勢、猫背など)に重点を置いている歯科医院もあれば、口腔機能を習熟させることで食事や歯磨き習慣などの生活リズムをサポートし、母子ともに健康な生活を送ってもらいたい、といった歯科医院もありました。

行なっているトレーニングはほぼ同じなのに、ゴールにしている点はそれぞれに違いがあるというのは大変興味深かったです。

今回の学会で得た知識を活かして、子供たちへのトレーニングに役立てていこうと思ひています。

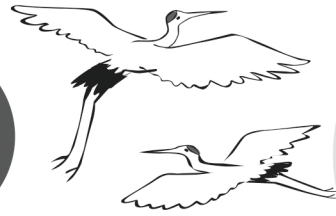
食べこぼしやくちゃくちゃ食べ、口がぼかんと開いているなど、お子さんのそのような様子が気になる方はぜひ一度ご相談ください。

(歯科衛生士 弓場奈津美)



《MFT学会にて》

謹賀新年



今年こそダイエット!
そして早寝、
早起きをがんばる!!

事務局
森下 愛子

バード
ウォッチング
始めます!!

事務局
森本 保代

感性を磨くため
情報収集する

歯科助手
井谷 のり子

結婚式当日の
体重にする

衛生士としても
お母さんとしても
スキルアップ!

歯科衛生士
弓場 未紗樹

本を
たくさん読む

歯科医師
竹岡 高志

アウトドア料理の
レパートリーを
増やしたい!!

健康第一で、
丁寧に暮らす

事務局
平田 聡子

家族で田舎に
プチ旅行
(癒されてきます)

歯科衛生士
濱端 真優

体幹を鍛えて
フレイル予防!

歯科衛生士
坂本 純子

「前進」
します!!

子どもと一緒に
料理やDIYに
挑戦したい

和装に挑戦!

歯科衛生士
西川 サワコ

歯科衛生士
山東 理沙

歯科衛生士
弓場 奈津美

写真をとりに
日本各地
いろんなところへいく!
Go!

体幹維持

事務局
板垣 嘉美

歯科衛生士
上田 智恵子

行ったことのない
ところに

旅行に行きたい

今年も家族みんなで

楽しく笑って
過ごします

歯科衛生士
田村 彩衣

365日笑顔 ^^

歯科衛生士
伊藤 恵子

歯科衛生士
太田 香

整理整頓

有言実行!!

歯科衛生士
大六野 貴子

歯科医師
湯崎 敬子

歯科衛生士
川端 茉衣

今年こそは
日本最後の秘境、
北アルプス最深部の溶岩台地、
雲の平に行く

時間を
大切に

甘いものを
食べ過ぎない

歯科助手
森谷 千浦

歯科衛生士
大平 可恵

院長
小畑 文也



2017年も ウェルネス小畑歯科医院を よろしくお願い申し上げます!

